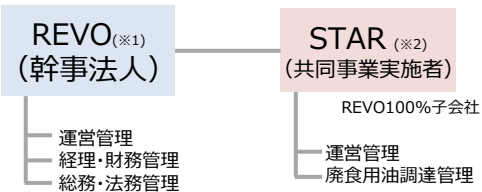


ベトナム社会主義共和国／ジャトロファ栽培とバイオ燃料製造の大規模実証プロジェクト

|                       |  |      |                    |
|-----------------------|--|------|--------------------|
| プロジェクト名               | ベトナム社会主義共和国／ジャトロファ栽培とバイオ燃料製造の大規模実証プロジェクト |      |                    |
| 企業名                   | 株式会社レボインターナショナル                          | 企業規模 | 中小企業・中小企業以外        |
| 類型                    | 類型1・類型2・類型3                              | 分野   | GX分野・DX分野・経済安全保障分野 |
| 事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額 | 61.5億円/59.5億円/39.7億円                     |      |                    |

## 事業概要

【想定事業スキーム】



※1 REVO:株式会社レボインターナショナル  
※2 STAR:STAR JAPAN 有限責任会社

【概要】本プロジェクトでは、当社が技術設計・栽培モデル・搾油プロセスの構築を主導し、現地子会社であるSTAR JAPAN社が、用地確保、行政手続、現地雇用の管理等を担うことで、日越の共創体制の下、7,350ha規模のジャトロファ栽培および日産30,000ℓのバイオディーゼル燃料製造体制構築に取り組む。

【主な技術及び実証性】当社は植物の生理活性を最大限に高める独自栄養剤を開発し、ジャトロファの安定生産技術の確立に成功している。この技術のスケールアップを図り、荒廃地におけるジャトロファの安定栽培モデルを実証するとともに、日本の技術の国際展開モデルの構築とGX燃料としての有効性を検証する。

【スケジュール】

実証3年目において7,350haのジャトロファ栽培を確立させ、バイオディーゼル燃料設備の完工、現地向け本格供給を開始する。実証後2年目には栽培地を11,004haへと拡大し、国内輸入の開始、さらにはASEAN他国への供給展開も検討する。

【事業イメージが分かる図や写真】



**日本碑益**

【本事業が我が国のイノベーション創出に裨益するポイント】

国際海事機関（IMO）によるGHG削減方針を受け、日本においてもバイオ燃料のニーズが加速することが見込まれる。本事業では、実証終了後2年目に日本市場向けに年間4,920kLのジャトロファ由来原料の輸入を見込み、当該輸入は船舶向け燃料としての利用拡大に寄与し、GX分野における日本の技術的優位性の確立と市場形成に貢献する。

【結果生み出される国内雇用・投資効果等】

技術供給拡大に向け、研究部門における日本国内の雇用創出が見込まれる。また、ジャトロファ由来の原料輸入体制の確立を通じ、国内製造拠点を追加に向けたさらなる投資も検討する。